

上野国・戦国時代のお城

史跡	城郭名	形態 (標高/比高)	遺構	所在地	概要
市史跡	五覧田城	山城 (593m/250m)	郭、堀	みどり市東町荻原字関守	旧黒保根村にある山城で渡良瀬川を見渡す場所に築かれている。 天正12年(1584年)に在地の土豪・阿久沢氏が後北条の命により築かれる。沼田領の領主真田昌幸に攻められ失陥するも奪還に成功する。
	高津戸城	山城 (284m/100m)	土塁、郭、堀	みどり市大間々町高津戸 (高津戸公園)	高津戸溪谷東岸の崖上に築かれた城で、承德・康和年間(1097年~1104年)に山田氏によって築かれたと伝わる。 山田氏滅亡後里見氏が入る。
	安中城	平城	土塁、堀	安中市安中3(安中小学校)	西上野に侵攻してきた武田信玄に対するため永禄2年(1559年)安中忠政によって築かれたと伝わる。 城主安中景繁が長篠合戦で討ち死にし、廃城となる。
市史跡	後閑城	山城 (270m/75m)	土塁、郭、堀	安中市下後閑字谷津(後閑城址公園)	信濃御嶽城主の依田忠政が嘉吉元年(1441年)から文安4年(1447年)に築いたと伝わる。先祖を新田義貞の末弟にもつ新田景純が当時領主だった北条正時を滅ぼし、この城に入り後閑氏を名乗る。
市史跡	松井田城	山城 (396m/130m)	土塁、郭、堀、井戸	安中市松井田町高梨字宇城山	築城年は定かではないが安中忠政が武田軍に備えて築城し敗れた後は武田家家臣が城代となった。
	板鼻城	丘城 (169m/45m)	土塁、堀	安中市板鼻町	築城年は定かではないが、武田信玄が築城したと伝わる・天正18年(1590年)上杉景勝により攻め落とされたという。
市史跡	今村城	平城		伊勢崎市稲荷町	築城年代は定かではないが那波宗俊によって築かれたと伝わる。越後上杉氏が金山城攻撃の拠点とした。
	赤堀城	平城	土塁、堀	伊勢崎市赤堀今井町2	築城年代は定かではない。赤堀氏は古河公方に属し、山内上杉氏と戦った。その後上杉謙信に従っていた。
町史跡	国峯城	山城	土塁、郭、堀	甘楽町大字秋畑字城山	築城年代は不明だが小幡氏による築城と伝わる。山内上杉氏に属していたが、後に武田信玄に属す。
町史跡	庭谷城	崖端城	石垣、土塁、郭、堀	甘楽町大字庭谷字田城	築城年代は不明。小幡氏一族の庭谷氏が城主だった。
町史跡	麻場城	丘城	土塁、郭、堀	甘楽町大字白倉	築城年代は不明。小幡氏一族の白倉氏によって築かれ、東にある二井屋城と併せて白倉城と呼ばれる。
市史跡	館林城	平城	郭、堀	館林市城町甲23-1	弘治2年(1556年)赤井照康によって築かれたと伝わる。越後上杉氏が関東に進出すると足利長尾氏が城主となるが後に北条氏の支配となる。
町史跡	岩櫃城	山城	土塁、郭、堀	東吾妻町大字原町	築年代は不明だが建久年間(1190年~1198年)頃に岩櫃城主として吾妻太郎助亮が登場している。武田信玄の西上野侵攻に伴い真田幸隆によって攻略される。
	長根城	丘城	土塁、郭、堀	高崎市吉井町長根字上の場	築城年代は定かではないが、天文年間の城主は小林氏その後小幡氏の一族小河原氏が城主となり長根氏を称する。
	島名城	平城	郭、堀	高崎市元島名町	応永年間(1394年~1428年)島名伊豆守によって築かれたと伝わる。天正年間に長井政実が武蔵から移るが後北条との抗争に敗れ越後上杉に逃れる。

上野国・戦国時代のお城

史跡	城郭名	形態 (標高/比高)	遺構	所在地	概要
市史跡	高崎城(和田城)	平城	櫓、門、土塁、郭、堀	高崎市高松町	前身は和田城で正長元年(1428年)和田義信によって築かれた。和田氏は上杉、武田、北条と属すことを変え小田原征伐で紀伊国へ逃れる。高崎城は和田城跡に井伊直政により築かれた。
	山名城	山城	土塁、郭、堀	高崎市山名町	築城年代は不明。新田氏ゆかりの山名氏により築かれる。戦国時代は木部城の詰城として利用された。
	根小屋城	山城	土塁、郭、堀、井戸	高崎市山名町城山	永禄13年(1570年)武田信玄により築かれる。山名城と鷹ノ巣城との間に新城を築き上野諸将を見晴らせた。
	倉賀野城	崖端城	なし	高崎市倉賀野町	築城年代は不明だが応永年間(1400年)頃に倉賀野頼行により築かれたと伝わる。武田氏の攻撃で落城し上杉氏を頼り越後に逃れる。
国史跡	箕輪城	丘城	石垣、郭、堀	高崎市箕郷町西明屋城山	永正年間(1505年)頃に長野業尚によって築かれたと伝わる。武田信玄の侵攻に籠城して抵抗したが武田の包囲網に落城する。高崎城が築城すると廃城となる。
	木部城	平城	土塁	高崎市木部町字丸の内(心洞寺)	築城年代は不明だが木部氏により築かれる。木部氏は源範頼の末裔と云われ、長野氏と縁戚関係にある。
市史跡	鷹留城	山城 (344m/80m)	郭、堀	高崎市下室田町字城山	箕輪城の西方にある支城で、明応年間に築城。箕輪城が出来るまでは長野氏の主城であった。
	玉村城	平城	なし	佐波郡玉村町大字下新田	天正8年(1580年)宇津木下綱により築城。厩橋城の北条高広を武田方に引き入れる功により所領を得る。その後井伊直政に仕える。
	渋川城	平城	土塁、郭、堀、井戸	渋川市渋川(正蓮寺)	元龜3年(1572年)渋川地衆によって築かれた。
市史跡	白井城	崖端城	石垣、土塁、郭、堀	渋川市白井字本丸	永享年間(1429年~1441年)山内上杉氏の被官・長尾景仲により築かれる。長尾景春の乱で一旦失うが永正の乱で城を奪還する。
	箱田城	丘城	土塁、郭、堀	渋川市北橋町下箱田	木曾義仲の郎党今井・高梨・小野沢氏の末裔の寄居といわれる。
	真壁城	丘城	土塁、郭、堀	渋川市北橋町真壁城山	白井城の支城で八崎城の繋ぎの城として発生し白井城廃城とともに廃城となる。
	八崎城	平城	郭、堀	渋川市八崎分郷字城	白井城の支城で長尾景春の築城とも伝わる。
	有馬城	崖端城 (282m/65m)	郭、堀	渋川市有馬	城主は不明。永禄年間(1558年~1570年)に築かれたと思われる。
	沼田城	崖端城	石垣、土塁、郭、堀	沼田市西倉内町(沼田公園)	天文元年(1531年)沼田顯泰によって築かれた。末子に相続させたいと嫡子を殺すも配下の反乱により会津に逃亡。沼田に残った藤田信吉が武田氏に内通し真田昌幸に城を明け渡す。
県史跡	大胡城	丘城	石垣、土塁、郭、堀、井戸	前橋市河原浜町根古屋	築城年代は不明だが、天文年間(1532年~1555年)大胡氏によって築かれたと伝わる。天文10年頃金山城横瀬氏の勢力に圧迫され大胡勝行は北条を頼り江戸牛込に移り牛込氏を名乗る。江戸時代に廃城となる。

上野国・戦国時代のお城

史跡	城郭名	形態 (標高/比高)	遺構	所在地	概要
県史跡	蒼海城	平城	郭、堀	前橋市元総社町1(総社神社)	永享元年(1429年)総社長尾氏により築城。上野国府跡ともいわれる地に城郭を築いた。
	上泉城	平城	土塁、郭、堀	前橋市上泉町	築城年代は不明。上泉氏は大胡氏の一族で箕輪城・長野氏に属していたが、長野氏滅亡後は武田氏に降った。
	石倉城	平城	郭、堀	前橋市石倉町5	文明17年(1485年)長尾憲景によって築かれた。天文3年(1534年)石倉城が利根川の氾濫によって分断され残った三の丸を中心に厩橋城が築かれた。
	前橋城	平城	土塁	前橋市大手町	利根川の氾濫で崩れた石倉城の三の丸を中心に、長野賢忠により築かれる。武田氏が滅ぶと信長家臣の滝川一益が入城するが本能寺の変で伊勢へ戻る。以降北条氏に属する。
	力丸城	平城	郭、堀	前橋市力丸町	貞治6年・正平22年(1367年)那波氏の一族力丸広宗によって築かれた。天正18年(1590年)没落する。
県史跡	膳城	丘城 (190m.10m)	郭、堀	前橋市粕川町膳	城主であった膳氏は鎌倉幕府の創業に尽力した三善康信と伝わる。武田勝頼が来襲した時の「素肌攻め」の逸話。
市史跡	女淵城	平城	土塁、堀	前橋市粕川町女淵字西原	築城年、築城主は不明。上杉謙信が攻め落とし長尾家家臣の新井図書に居城させる。新井家は新井白石を輩出する。
	荻窪城	丘城	土塁、堀	前橋市荻窪町本屋敷	大胡城の支城で城主は赤荻一族と推定され、文和2年(1343年)以前の築城と思われる。
	神保植松城	丘城	郭、堀	多野郡吉井町大字神保字植松	築城年代は不明。神保氏による築城と伝わる。永禄10年(1567年)神保昌光は小河原重清とともに西上野を支配した武田信玄に従っている。
	一郷山城	山城	なし	多野郡吉井町多比良	築城年代は不明。山内上杉氏により築かれたかと伝わる。武田信玄により攻められた時の城主は新堀城主・多比良友定の重臣・安部中務尉。
	長根城	丘城	土塁、郭、堀	多野郡吉井町大字長根字上の場	築城年代は不明。天文年間(1532年～1555年)の城主は小林重秀及び秀政。その後児玉党の小幡氏の一族小河原氏が城主となり長根氏を称した。
国史跡	金山城	山城 (240m/190m)	石垣、土塁、郭、堀、井戸	太田市金山町	文明元年(1469年)岩松家純によって築かれた。岩松氏は新田氏の傍系とされ実権は重臣の横瀬氏(後由良氏)に移り岩松氏は没落。難攻不落の堅城と讃えられた。
	宝泉城	平城	なし	太田市由良町	応永年間(1394年～1428年)岩松満国により金山城の支城として築城される。
県史跡	平井・金山城	山城 (326m/160m)	石垣、土塁、郭、堀、井戸	藤岡市下日野字金井平	永享10年(1438年)長尾忠房が上杉憲実のために築いたと伝わる。関東管領上杉氏の居城平井城の詰城。
県史跡	平井城	崖端城	土塁、堀	藤岡市西平井	永享10年(1438年)上杉憲実が築いたと伝わる。鎌倉公方との確執により長尾忠房に命じ密かに築城させた。上杉頼房の代から上杉氏の本城となる。
	丹生城	山城 (290m/70m)	土塁、郭、堀	富岡市上丹生字中村	築城年代は不明。新田景純が城主としていたが、武田信玄に属し国峰城の支城となり小幡氏の所領となった。

上野国・戦国時代のお城

史 跡	城 郭 名	形 態 (標高 / 比高)	遺 構	所 在 地	概 要
町史跡	小泉城	平城	土塁、堀	邑楽郡大泉町城之内2	延徳元年(1489年)富岡直光によって築かれた。富岡氏は始め鎌倉公方に属したが、後に越後上杉氏、小田原北条氏に従った。
県史跡	名胡桃城	崖端城	土塁、郭、堀	利根郡みなかみ町下津字城平	明応年間(1492～1501年)に沼田景冬によって築かれたと伝わる。真田昌幸の所領となり、小田原征伐の引き金となる名胡桃城事件が起こる。
町史跡	小川城	崖端城	土塁、郭、堀	利根郡みなかみ町月夜野字古城	明応元年(1492年)沼田景久によって沼田城の西の備えとして築いた。